

守る会 News

高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会



☆記事紹介 : ☆NO₂ 第3回測定 6月に実施 ☆里道の草刈り
 ☆瀬戸内図書館見学会案内 ☆内が池再生計画実施報告 (高槻環境市民会議殿)

“あなたの街の空気を計りませんか”

NO₂ 第3回 測定を実施

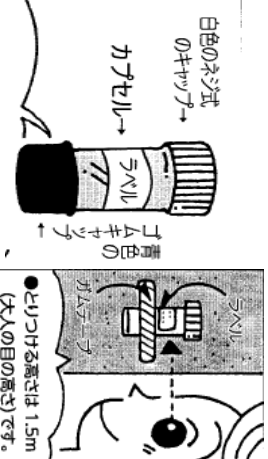
2019年6月のNO₂カザセル 簡易測定へのご案内

日時 : 2019年6月6日(木)
 午後6時 ~ 7日(金)午後6時
 (24時間測定)

新規に測定参加ご希望の方は、事務局

安田 : 080-6137-8942
 村井 : 090-22283-1619

迄御連絡下さい。



30年度 会計報告

高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

平成30年度高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会 収支報告書

活動期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日

項目	収入の部	摘要	項目	支出の部	摘要
〒	1,481,482	〒料等現金 13,788円 495,284円 1,477,698円			
預金利息	12利息のバウ	広報活動費	0		
バウアゲアゲ	5,700	バウアゲアゲにて公民館 使用料を支払ひため	39,790	NO2測定カザセル代、第 3年度会費など	
寄付	3,000	イベルド植栽	0		
		会議費	36,400	公民館使用料(バウアゲ アゲ)5,700円(含むバウ アゲ)	
		会議費	8,050	会議費、お茶、ドリンク代等	
		文具費	3,000	コピー用紙、インクカート リプレースメント	
		資料関係請求送料	0		
		交通費等	0		
		(小計)	57,238		
		次年度繰越金	1,438,881	平利、専金 13,183円 お茶代等 11,607円	
合計	1,484,184	合計	1,494,184		

以上の通り、ご報告いたします。

平成31年 3月 31日

高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表 上田 博夫

監査報告書

平成30年度高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会の収支報告は、その関係機関、
 監査書類と照合した結果、収支は適正かつ確実に行われていることを認めます。

平成 31年 ヲ月 / /日

監査

安田千太郎

里道の草刈り (内が池西側 171号線～内が池間) 参加お願い

昨年同様、里道の草刈りを下記要領で実施します。大勢の参加をお願いします。

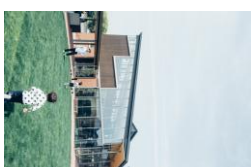
1. 日時 : 令和元年5月11日(土) 10時～12時
2. 場所 : 国道171号線一内が池 間の里道
3. 集合場所 : 現地の内が池遊歩道
4. 服装/持物 : 汚れても良い服装、手袋、帽子など

雨天
18日に延期

メディアアーク五領からお知らせ

第4世代図書館 瀬戸内市民図書館 見学会

「持ち寄り・見つけ・分け合う」図書館として設立
 2017年ラゾラリーオアザグイヤー大賞&オーディエ
 ンス賞を受賞しています。



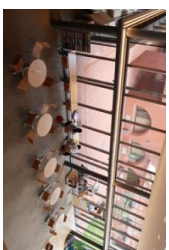
住所 : 〒701-4221 瀬戸内市邑久町尾張 465 番地 1

見学日時 : 5月23日(木) 交通*JR利用



見学当日には、図書館設立の中心人物、嶋田学氏(元瀬
 戸内市民図書館館長)のお話を聞かせて頂く予定。)。

見学にご興味のある方は、
 事務局 安田 : 080-6137-8942 まで御連絡下さい。



編集部 : 地方選挙も終わりました。そして、5月から令和がスタートします。
 「守る会」は引き続き地球環境を見守っていききたいと思えます。

「守る会」定例会は、毎月、第4土曜日 16:00～18:00、

上牧公民館 (上牧町本澄寺前) で開催しております。

連絡は、事務局村井 (masasa569@tcn.zaq.ne.jp) 迄

発行 : 高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表 : 上田 博夫

住所 : 〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内

電話番号 : 070-3300-7149

ホームページ : <https://takatsuki-goryo-mamorukai.jimdo.com>



内が池再生計画：たかつき環境市民会議殿より報告書を頂きました。

内ヶ池 第14回自然再生活動報告 ～ヨシ再生活動(第6回)～

1. 日時；2019年3月28日(木) 9：30～14：30
2. 場所；内ヶ池生態系配慮護岸(B地区)、新名神淀川橋工事事務所内
3. 活動団体(参加者)；6団体 総勢 30名
*たかつき環境市民会議水環境保全グループ；
(山崎、山佐、森畑、河合、三上、小倉(記録))
*上牧自治会(木村)、
上牧実行組合、高槻五領の環境と子どもの未来を守る会、高槻市東部
土地改良区、NEXCO 新名神淀川橋工事(後援) 24名
4. ヨシ再生活動内容

1) 経過

昨年ヨシ再生用土壌の造成と、ヨシの根茎を移植したが、ヨシの定着に失敗した。

失敗の要因は、

- ・コイの食害(掘り起し)による植え付けたヨシの根茎が消失した。
- ・ヨシ植え付け時期が遅く、根茎の質が劣化した。等と推測される。

2) 対策

- ・昨年の経験を活かし、今年は植え付け時期をヨシの芽吹きに合わせる事とした。
 - ・新名神淀川橋工事事務所横にヨシの自生地があり、このヨシを損傷の少ない状態で株を掘り起こし移植する事とした。
 - ・移植土壌地の高上げ造成を行い、移植環境の改善も行った。
- 3) 作業内容



①新名神工事で出た田んぼの土を、造成地の高上げ用として2tトラック4台分を貰った。

新名神淀川橋工事事務所内の敷地に仮置きされた土砂を、地元の大勢の人達と農作業用機材

(キヤタラカー・二輪車)等を総動員して、造成地に運搬投入をした。

2tトラック4台分の田んぼの土仮置き

②高上げ造成に合わせ、造成地区画の土嚢袋を100個高上げ補修を行った。

③新名神工事で掘り起されたヨシの根茎(土嚢袋3袋分)をもらい受け、造成地に植え付けた。

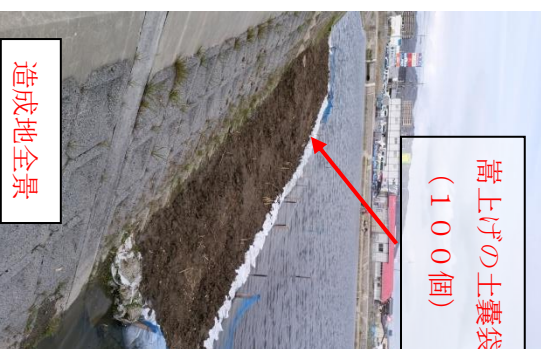
④新名神淀川橋工事事務所の東側水路斜面(高槻市所有地)に自生しているヨシの根茎を20株掘り起こし(市の許可済)造成地に移植した。

⑤参加者に1株毎にヨシのオーナーになってもらい植え付けを行い、今後の成長を見守ってもらう事とした。

5. 今後の予定；

1) ヨシの定着状況を定期的に観察し保全を行う。

2) ヨシ再生土壌地内に雑草が繁茂しない様に小まめな除草を行う。
以上



高上げの土嚢袋
(100個)

造成地全景



キヤタラ付き運搬車で造成地への投入作業



造成地への投入の順番待ち



ヨシの1株オーナーとなり植え付け